

# フジパングループPresents 2022ロバパンCUP 第54回全道U-12サッカー大会 十勝地区予選

## 開 催 要 項

1. 主 旨 道内の少年サッカーで活動している子どもたちの一層の心身の向上とサッカー技術の向上を目指し、併せてクリエイティブでたくましい将来のサッカー選手を育成するために全道のサッカー少年が相集い交流と親睦を深めるため本大会を開催する。
2. 主 催 一般社団法人十勝地区サッカー協会
3. 主 管 十勝少年サッカー連盟
4. 共 催 北海道新聞社、北海道新聞HotMedia
5. 後 援 十勝教育局・帯広市教育委員会
6. 期 日 2022年7月2日(土)・3日(日)
7. 会 場 十勝川河川敷サッカー場
8. 参 加 資 格
  - (1) 「参加チーム」は、今年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
  - (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
  - (3) 同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
  - (4) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし前項(3)は適用される。
  - (5) 当該チームの地区大会への登録選手が16人に満たない場合は、本大会においては「加盟チーム」の選手の中から補充することができる。
  - (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、原則内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
  - (7) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
  - (8) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険等)に加入していること。
  - (9) **新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守できるチームに限る。**
9. 参 加 チ ー ム  
及 び そ の 数
  - (1) 「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者2名以上3名以下とするが、十勝地区予選に限り、6学年だけで既定の人数より多くなる場合はその人数まで登録を認める。5学年以下との混在で既定の人数を超えることはできない。
  - (2) 複数チームの参加を認めるが、6学年の人数が14名以上であることを要する。ただし参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合がある。日程消化が可能な申し込みチーム数に若干の余裕があり、これを超える申し込みがあった場合は、6学年の人数が多いチームを優先する。
10. 競 技 規 則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。  
但し、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。
11. 競 技 方 法
  - (1) トーナメント方式で代表3チームを決定する。
  - (2) 競技のフィールド  
○フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。  
○ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。  
○その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
  - (3) 試合球 公認4号球を使用する。
  - (4) 競技者の数および交代  
○1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。  
○登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。  
○ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。  
○交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
  - (5) テクニカルエリア：設置する。
  - (6) ベンチ入りの人数  
○交代要員8名、引率指導者2名以上3名以下とする。  
○その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

- (7) 試合時間  
 ○試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は原則7分とする。  
 ○同点の場合はいわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝戦では前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。  
 ※大会形式は参加チームにより変更する場合がある。
- (8) 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムを採用する。  
 （採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。）
- (9) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数：2名以内

## 12. 競技者の用具

### 競技者の用具・ユニフォーム

- ①（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、本項②以下については、一部、本大会の緩和規定として採用する。
- ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツおよびソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。（正・副の2色については、明確に異なる色とする。）  
 ※ なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても、同系色のユニフォームであれば着用可能とする。
- ③ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は登録された2組のユニフォームの内から、シャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。（ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。）
- ④ ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとなる場合（逆の場合も）については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手と区別がつくものであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥ アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑦ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑧ 選手番号の参加申込締切日以降の変更は原則認めない。
- ⑨ ユニフォームへの広告表示については、（公財）日本サッカー協会第4種部会が別途定める規定に基づくものでなければならず2022年4月25日（月）までに（公財）北海道サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。  
 ※（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を提示することが認められる。ただし、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

## 13. テクニカルエリア

- (1) 設置する。
- (2) ベンチに入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者原則2名以上～3名以下とする。但し、6学年だけでその人数を超えるチームはその人数までベンチ入りを認める。
- (3) テクニカルエリアを出てのコーチングを禁止する。
- (4) その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (5) 監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示した場合、主審の判断でカードを提示し警告・退場とする。

## 14. 審判員

主審、副審（2人）、第4の審判員の4名で運営する。  
 ※グリーンカードを積極的に採用するように心がける。

## 15. マッチフェアオフィサー

決勝の各試合において配置する。

## 16. 懲罰

- (1) 本大会は（公財）日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会で退場を命じられた者は、自動的に次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

- (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、各ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会が終了した時に警告の累積は消滅する。
- (6) 道大会終了時点で本地区代表の未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式大会で消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (7) その他、本大会の懲罰に関する事項に関しては本大会の大会規律委員会が決定する。

17. 参 加 料 6,500円（内連盟負担金500円を含む）

18. 参 加 申 込 参加チームは以下の手続きを期日までに完了すること

- (1) 参加申込書の提出（所定のファイル）  
Eメールで下記申込先まで送付すること。
- (2) 大会参加料（6,500円）を申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。  
※振込用紙の通信欄には必ず大会名やカテゴリー・希望チーム数を明記すること。
- (3) 複数参加希望のチームは、申込み締め切り後、参加チーム数により参加可能かどうかを判断するため、申込書に2チーム希望の記載をし、認められた場合に2チーム目の参加料納入と2チーム分のメンバー登録票を再提出をすること。
- (4) 選手変更・追加登録は、監督会議まで所定のファイルにより再提出すること。
- (5) 参加申込み締切 2022年6月15日（水）17時必着とする。

【申込先・申し込みに関する問い合わせ】

（一社）十勝地区サッカー協会 4種事務局長 内山 富博

Eメール：std.21u@gmail.com 携帯：080-5582-1998

【競技事項に関する問い合わせ】

（一社）十勝地区サッカー協会 4種委員長 宇野 和哉

Eメール：monpy@sea.plala.or.jp 携帯：090-2814-2267

大会参加料等振込口座（振込用紙に必ず大会名、チーム名、氏名を記載すること）

銀行名：ゆうちょ銀行

口座番号：02730-8-39544（郵便振替口座）

口座名：十勝少年サッカー連盟

19. 組 合 せ 監督会議において抽選し確定する。

20. 帯 同 審 判
- (1) 審判は主審1名、副審2名、補助審1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。
  - (2) 出場チームは（公財）日本サッカー協会審判員（3級以上）を1名以上帯同させること。
  - (3) 帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込み書に記載すること。
  - (4) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとし、主審は（3級以上）の者が行い副審、補助審は（4級以上）のものが行う。
  - (5) （3級以上）を帯同できない場合は、申込み締切日までに下記あてまで連絡し、不帯同料として一試合毎3,000円を大会当日の朝、本部に納入すること。

【審判に関する問い合わせ】

（一社）十勝地区サッカー協会 4種審判委員長 喜多 翼

Eメール：tsubasa\_n1m1s3@yahoo.co.jp 携帯：090-2076-8786

21. 選 手 証
- (1) 各チームの登録選手は、原則として（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。  
※選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものに限る。  
スマートフォンやPC等の画面に表示したものは認めない。
  - (2) 大会初日、自チームの第一試合開始前に確認を受けること。出場選手が不在の場合は参加した日の1試合目前に順次確認を受けるものとする。

22. 選 手 変 更 選手変更・追加登録は、監督会議まで所定のファイルにより再提出すること。

23. 監 督 会 議 2022年6月24日（金）19:00 ZOOMによるオンライン監督会議  
監督又はそれに準ずる者が必ず出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

24. 開 会 式 行わない。

25. 閉 会 式 2022年7月3日（日）決勝戦終了後に表彰式のみ行う（決勝戦進出チームのみ出席）

26. 表 彰 優勝、準優勝までを表彰する。
27. そ の 他
- (1) 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。  
また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
  - (2) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
  - (3) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会（4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成）において協議のうえ対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
  - (4) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。その後の措置は（一社）十勝地区サッカー協会の管轄とする。
  - (5) 大会参加にあたっては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に年度初めに説明した「大会参加にあたっての注意事項」を遵守しなければならない。
  - (6) 観客席は選手席のコートを挟んだ向かい側に限定する。  
※観戦できるのは当該チームの関係者のみとする。  
※有観客の実施下にあっても声を出した応援はしないこと。
  - (7) 父母席（観客席）からのサイドコーチングを禁止する。
  - (8) 本大会は大会期間を通じて新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対応をとるものとする。
    - ①本大会実施にあたり、最新版（公財）北海道サッカー協会発出「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を遵守し、参加選手および関係者はチェックリストによる確認を行う。
    - ②各チームは感染対策担当者を1名を配置し、健康チェックシートの提出をはじめ感染対策に関わる全般の対応にあたる。
    - ③選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とは会場責任者などでミーティングを実施する。
    - ④声を出しての応援は控えること。
    - ⑤ソーシャルディスタンスの確保、及びプレー、アップ以外でのマスク着用の義務付け。都度アルコール消毒を行うこと。検温要請への協力。
    - ⑥新型コロナウイルス感染症の拡大による制限などにより、無観客開催、試合の中止、日程延期などの場合がある。
  - (9) 代表の3チームは全道大会への参加を義務付ける。
  - (10) 全道大会 2022年7月29日(金)～31日(日) オホーツク地区

以上